

次世代へ残そう！ 和歌山の豊かな自然プロジェクト



現状・課題

- 和歌山県の豊かな自然を後世に引き継ぐためには、子どもたちが自然に親しみ、その価値を実感できる機会を増やすことが重要です。自然への興味や関心を喚起するとともに、実際の体験活動を通じて学びを深めることで、将来の担い手となる人材の育成につなげます。
- 2030年までに、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標(30by30)に向け、県内の生物多様性豊かな自然環境を公有、民有に関わらず保全していく必要があります。

取組

和歌山の自然を後世に残すために

● 和歌山県の生物多様性保全を担う人材の発掘・育成事業

- ・生物の研究者・専門家等の知識や技術を、県内の小中学生に伝える機会として、「ネイチャー・キャンプ」を開催します。
- ・和歌山県の豊かな自然環境や希少な動植物を将来にわたり保全していく担い手となる人材を発掘育成します。

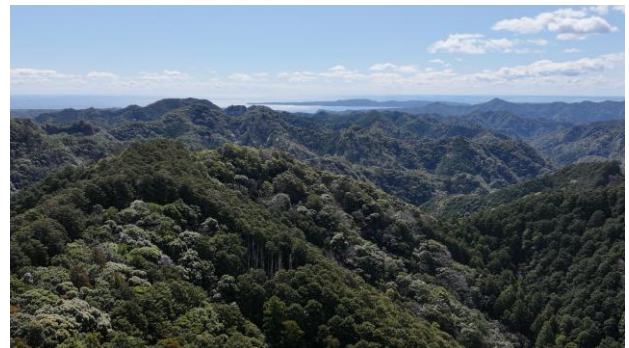


● 県有林のモニタリング調査並びに環境省「自然共生サイト」への登録

- ・生物多様性豊かな県有林を環境省が認定する「自然共生サイト」へ登録することで、保全を図ります。

● 民間企業・団体を対象とした「自然共生サイト」への登録推奨及び支援

- ・自然共生サイトへの登録に必要なモニタリング調査等のノウハウをまとめたマニュアルを用いて、民間企業への登録推奨及び支援を行います。



寄附金の使途

若年層向け人材育成事業「ネイチャーキャンプ」に係る運営費用、県有林の調査費用、自然共生サイトへの登録推奨及び支援に係るマニュアル作成、事務費 等